

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主査名：和田 浩一 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主査名：日色 真帆
設置期間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・整理・体系化することにより、それらの成果を広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する活動を継続的に行う。</li> <li>・ 設計・デザイン研究に関連する他学会と連携して、我が国のデザイン研究分野の発展に寄与する。</li> <li>・ 人工物のプロダクトレベルのデザインや、そこに反映される、あるいはデザインがもたらす様々な背景情報・制約条件・社会システム等のメタレベルの「関係性のデザイン」、「対話によるデザイン」に関する検討・提案を行う。</li> <li>・ さまざまな社会システムの再構築が求められる状況下において、社会的価値を創出するためのデザインのスコープ・プロセス・マネジメント等の方向性をさぐる。</li> </ul> <p>(2020 年度活動計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの設計方法研究の流れをレビューし、設計方法の理論、用語、手法等を集成してまとめる。また、設計方法「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動し、デザイン関連他学会との連携を行う。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：和田浩一 (職業能力開発総合大学校) 幹事：酒谷粹将 (関東学院大学)、脇坂圭一 (静岡理工科大学) 委員：関博樹 (東京都市大学)、山口純 (横浜国立大学)、五十嵐雄哉 (清水建設)、日色真帆 (東洋大学)、武田有左 (明星大学)、遠藤政樹 (千葉工業大学)、大西康伸 (熊本大学)、近藤伸亮 (東京大学)、仲隆介 (京都工芸繊維大学)、長坂一郎 (神戸大学)、渡邊朗子 (東洋大学)、本江正茂 (東北大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<設計方法レビューWG>主査：日色真帆 (9 回/年) *設計方法に関する理論、用語、手法等を集成し、これまでの設計方法研究の流れを位置づけ、新しい動向を捉えたレビューを行う。それらの成果を、書籍としてまとめて刊行し、設計方法の教育にも資するようにする。	
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会+WG 合同委員会 11 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認 企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた 成果との関係)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WG と合同でデザイン方法論に関する書籍の刊行準備を進めた。</li> <li>・ 他学会と連携し、Design シンポジウム 2021 の共催に向けて準備を進めた。</li> </ul>
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書籍刊行に向けた進捗 (遅れ)。</li> <li>・ 委員会 HP の充実</li> </ul>